

# オンライン演劇って、 どうやると?!

## メンバー



### 小出直子 (なおちゃん)

ファッションデザイナー。ミス・ユニバースジャパン、ミス・インターナショナルなどの魅力表現講師。様々な企画のプロデュース、コーディネートなど活動は多岐にわたる。演劇ワークショップを経て“すごい演劇アートプロジェクト”の俳優としても活躍。



### 堤泰子 (やっこちゃん)

福岡大学、中国帰国者自立研修センター、日本語教師養成講座講師など、日本語教育に30年近く携わる。演劇ワークショップを経て“すごい演劇アートプロジェクト”の俳優として活躍。倉品演出には2008年『よろぼし』より参加。



### 小寺美咲 (みーちゃん)

2018年の身体的にバラエティあふれる人たちの演劇公演『走れ!メロス。』に参加。演劇活動の他、音楽制作、小説執筆なども行っている。脳性麻痺という身体障がいを持つ。俳優を目指したきっかけは劇団四季の『ライオンキング』。



### 廣田深 (けい)

筋ジストロフィーにより、身体が徐々に筋力低下していき、10歳で歩けなくなった。2015年に『BUNNA』と出会い、表現することに興味を持った。その1年後に、本格的に俳優として活動を開始。音楽、映像などにも興味の幅を広げている。



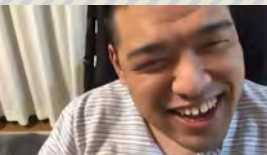
### 里村歩 (あゆきち)

生まれつきの障がいではなく、原因不明で突然発症。2014年より、俳優としての活動を開始。身体的にバラエティあふれる人たちの演劇公演『BUNNA』以降、俳優として継続的に活躍。創作ダンスにも興味を持ち活動している。



### 森裕生 (もりっち)

講演家・プロマジシャン・役者・モデル・ヴォーカリストといった顔をもつ。先天性脳性麻痺による四肢体幹障害という才能がある。ステージネームは「Mr.Handy」。2016年9月自称伝「まるはだか〜脳性まひプロマジシャンMr.Handy 誕生の日〜」を出版。



### 佐野優馬 (ゆうま)

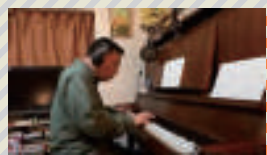
平成20年度に福岡市立南福岡特別支援学校を卒業。博多のボッチャのクラブに所属。同じ施設の友達と水族館などに行くのが好きで自ら企画行動している。2018年の身体的にバラエティあふれる人たちの演劇公演『走れ!メロス。』に参加、俳優活動も開始。



### 山口恭子 (きょんきょん)

「演劇作業室 紅生姜」代表。劇団歴は30年。複数の朗読講座講師。“すごい演劇アートプロジェクト”の俳優として活躍。倉品演出には2008年『よろぼし』より参加。

## ゲスト



### 片岡祐介

音楽家。コロナ以後は、タイミングのずれ前提の遠隔共演や、二つのYouTubeを同時に配信して音量ミックスを視聴者に委ねたり、チャット欄で架空の曲名をもらって新曲をでっちあげるライブなど、ありとあらゆるネット上の試みをしている。2020年11月7日にオンライン稽古へゲスト参加。



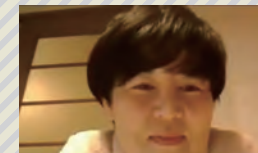
### 早川ひかる (ひかるん)

日常生活の中心は車椅子に乗り生活を行っている。日々、新しい物や自分の描き方を追求し、将来は絵本を作成することに夢を大きくふくらませクレパス、パステルなど種類が違う物の組み合わせなどを考え自分なりの表現を追求している。2020年10月24日にオンライン稽古へゲスト参加。



### 佐藤拓之 (たくほん)

俳優。早稲田大学演劇研究会のアンサンブル「双数姉妹」で活躍。現在は男性3人の演劇チーム「シヅマ」、東北八戸の劇団「フォーチュンシアター」で活動中。インプロ公演も多数参加。身体一つで何処へでも。演劇部チーム シヅマ  
<https://shizuma.tokyo/>  
劇団 フォーチュンシアター  
<http://fortune-theater.chips.jp/>



### わたなべなほこ

劇団「あなざーわーくす」主宰、ユニット「あなざ事情団」メンバー、NPO法人PAVLIC理事。演出家、ワークショップファシリテーター。観客参加型の“レクリエーション演劇”を開発、以降、コミュニケーションを軸にした演劇作品を発表している。

## 演出



### 倉品淳子 / 劇団山の手事情社

福岡県出身。劇団山の手事情社所属、俳優、演出家。綾瀬シニア劇団プロジェクトリーダー。主な演出作品『ひかりごけ』（韓国大田市演劇祭参加作品）、『よろぼし』（主催：明治安田生命エイブル・アート・ジャパン）、大阪府障がい者舞台芸術オープンカレッジ2019演劇公演『独創\*かちかち山』ほか。“すごい演劇アートプロジェクト”では『BUNNA』、『走れ!メロス。』構成・演出、『ガラスの動物園』出演。